

災害時における住民の避難行動（安全確保行動）に関する検討会資料

日 時:平成30年11月29日(木) 14:30～
場 所:兵庫県災害対策センター
佐用町企画防災課 防災対策室
室長 古市宏和

1

平成21年台風9号災害以降の動き

台風第9号災害では、避難勧告等のタイミングや避難のあり方が最大の課題となった。このため、町では災害検証委員会を設置、平成22年7月に「台風第9号災害検証報告書」を受けた。

その中の90項目に及ぶ提言の実現に当たっては、①取組を行う分野が多岐に渡ること、②地域と協働で推進すべきこと、③町地域防災のあり方を全面的に改訂する必要があること、④短期又は長期スパンで取り組むもの、⑤予算執行を伴うものなど多くの課題があり、全職員一丸となって遂行してきた。

2

提言に基づいた取り組み

提言に基づいた取り組みとして、本検討会に係るものは ①町からの避難勧告等の発信の改善 ②地域における情報伝達の改善 ③地域における住民の避難行動の改善 ④災害時要援護者への支援の改善 ⑤自動車移動者への情報伝達と誘導の改善があり、町と住民・自治会が行う具体的な取り組みは下記のとおりである。

【町の取り組み】

- ・避難勧告等の判断、伝達マニュアルの作成
- ・地域防災計画、防災対策マニュアル改訂
- ・災害対策本部設置・運営訓練等の実施
- ・職員防災研修会の実施
- ・ハザードマップの作成及び住民への周知
- ・自主防災リーダー研修会の開催
- ・自主防災組織の育成
- ・防災訓練等の補助など

【住民や自治会の取り組み】

防災マップ作り(気づきマップ・支え合いマップ)などを通して、自分の住んでいる地域の危険を知り、避難訓練や研修会などを実施。

3

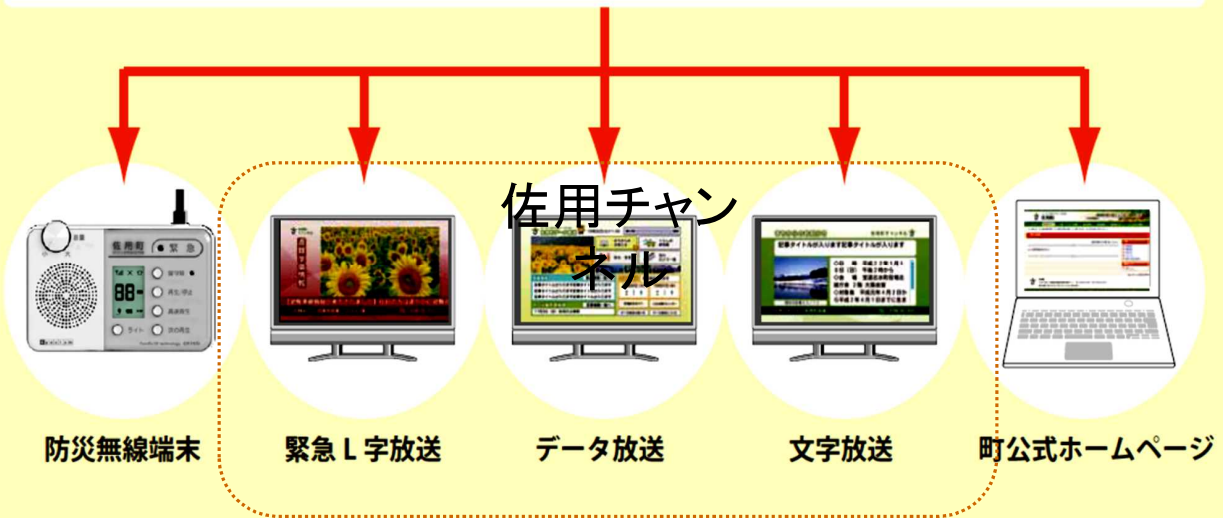
避難に係る町からの情報配信ツール

- ・ 防災行政無線放送（難聴者には文字表示機）
※放送は自治会からも放送可（希望した自治会のみ）
- ・ さよう安全安心ネット（登録制メール配信）
- ・ エリアメール、緊急速報メール
- ・ 佐用チャンネル（ケーブルテレビ）
- ・ 佐用町ホームページ
- ・ 電話、FAX（要配慮者等）
- ・ ビジネスランシーバー（孤立集落対策）
- ・ 消防車両（消防団車両）
- ・ 高速道路利用者への紙ベースによる案内（佐用地域における災害時の道路情報伝達・対応連絡会）
- ・ 公共情報 commons（報道機関）

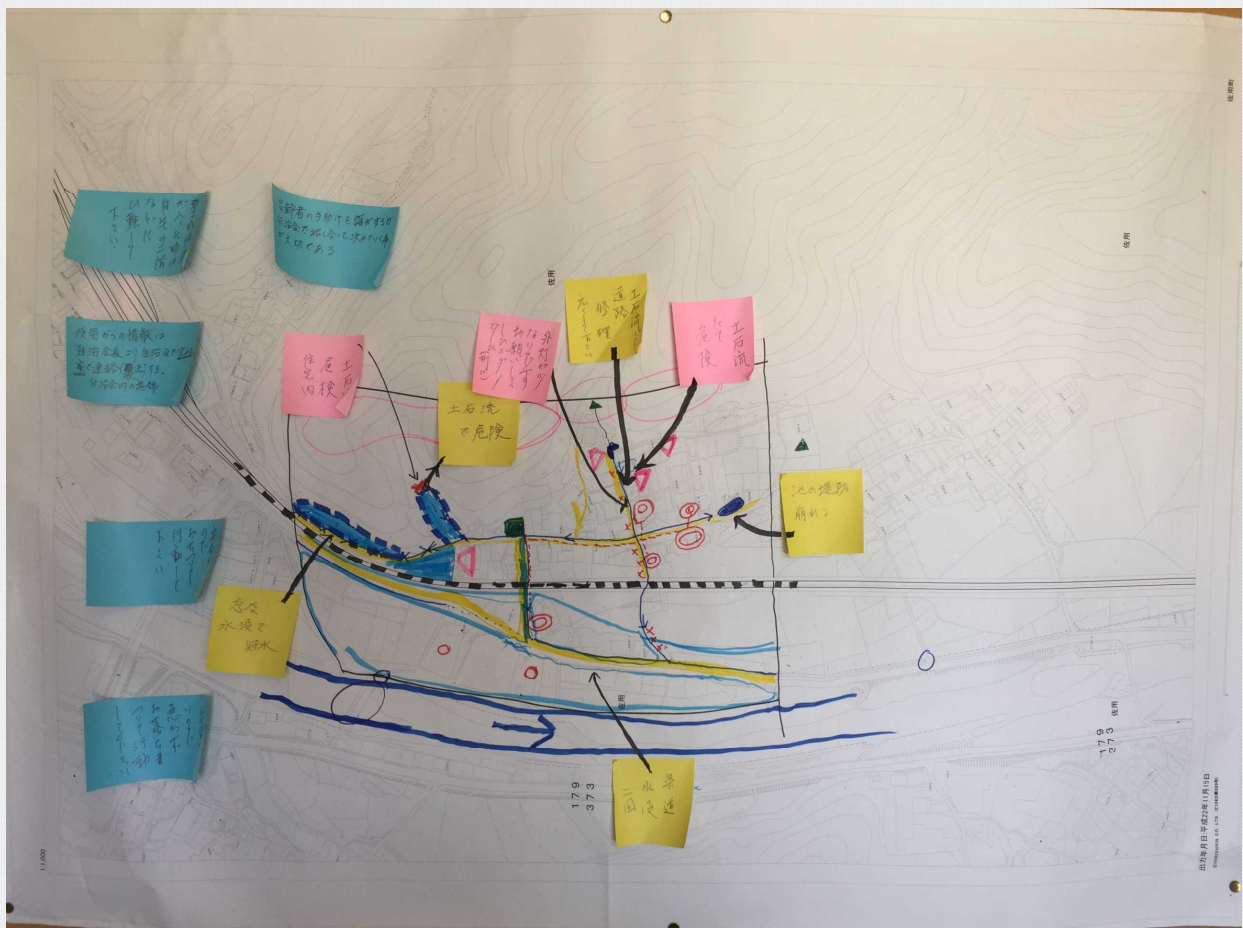
4

複数の媒体に、同時に情報発信ができるようになった。

- 緊急情報
- 河川カメラ画像
- 選挙速報
- Jアラート
- 河川雨量水位情報
- お知らせ
- さよう安心安全ネット
- 行事イベント情報



自主防災組織による気づきマップの作成



マップづくり講習会



7

地域によるマップづくり



8

各家庭における気づきマップの作成

気づきマップの作り方

共助：みんなで地域を支える

みんなで作ってみましょう。

気づきマップを作ることで、危険箇所を確認することができ、また集落内で情報を共有することができます。

1. 避難場所の記入

取り決めた行った避難場所を書き込んでみましょう。

- ・前の指定避難所
- ・一時避難所
- ・その他、地震時に集まる広場など

2. 危険箇所の記入

ハザードマップに載っていない危険箇所を確認して書き込んでみましょう。

- ・いつも山から水が出ている。
- ・雨が降るといつも水がたまる。
- ・山の斜面に地割れがある。
- ・天かな水路でいつも、たくさん水が流れている。

3. 避難に支援が必要なかたの記入

避難に支援が必要なかたがどこに住んでいるか確認し、場所を書き込んでみましょう。また、そのかたが住んでいる家の状況を確認しておきましょう。

- (例) ・川沿い
- ・浸水想定区域内
- ・土砂災害警戒区域内
- ・平屋建て など

19



4. 防災関係設備・資機材設置箇所の記入

マップに防災関係の設備や資機材の設置場所を書き込んでみましょう。

(記入例)

- ・消火栓 … (消)
- ・防火水栓 … (防水)
- ・防災倉庫 … (防倉)
- ・飲料用井戸 … (飲井)
- ・土のうダスト置場 … (土夕)
- ・AED設置場所 … (A) など

書き方は集落内で取り決めし、地図上に略文字を書き込んでみましょう。

5. まち歩きにより気づいたことの記入

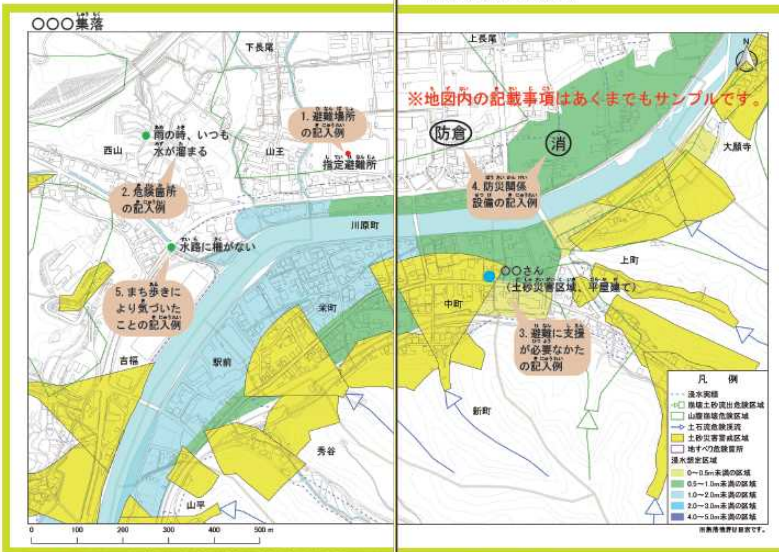
集落内で実際にまち歩きをし、気づいたことをなどを書き込んでみましょう。

普段は安全であるが災害時に危険となる箇所の確認



- ・道が狭くなっている
- ・歩道に手すりがない
- ・道路の縁石
- ・蓋のない水路 など

20



1



2



集落ハザードマップ

自助：自分と家族の命を守る

のりはり部分

それぞれ自分の集落の
マップをこの部分に貼り
付ける(A3版)

1



2



水害・土砂災害
集落ハザードマップ

平成30年7月豪雨

雨量

- ・累加雨量(7/5 4:00~7/7 20:00) 408mm
- ・24時間最大雨量 248mm
- ・時間最大雨量 42mm

家屋被害状況

- ・床下浸水 5棟(床上浸水以上の被害は無し)

避難勧告等発令状況

- ・避難準備・高齢者等避難開始 (一部地域) 20:10、21:00
- ・避難勧告 (一部地域) 23:23 (町内全域) 23:45

※避難準備等の発令はなかったが、23:00に全指定避難所を開設。

避難者数(町内10指定避難所) 最大 59世帯 129人(実数 69世帯/136人)

体制

- ・災害警戒本部設置 7月6日 19:00
- ・災害対策本部設置 7月6日 23:36
- ・対策本部⇒警戒本部 7月7日 13:15
- ・警戒本部体制解除 7月7日 21:32

台風20号 (8/23~24)

避難勧告等発令状況

- ・避難準備・高齢者等避難開始(町内全域)17:30

避難者数(町内9指定避難所) 最大25世帯 38人
(開設は10避難所)

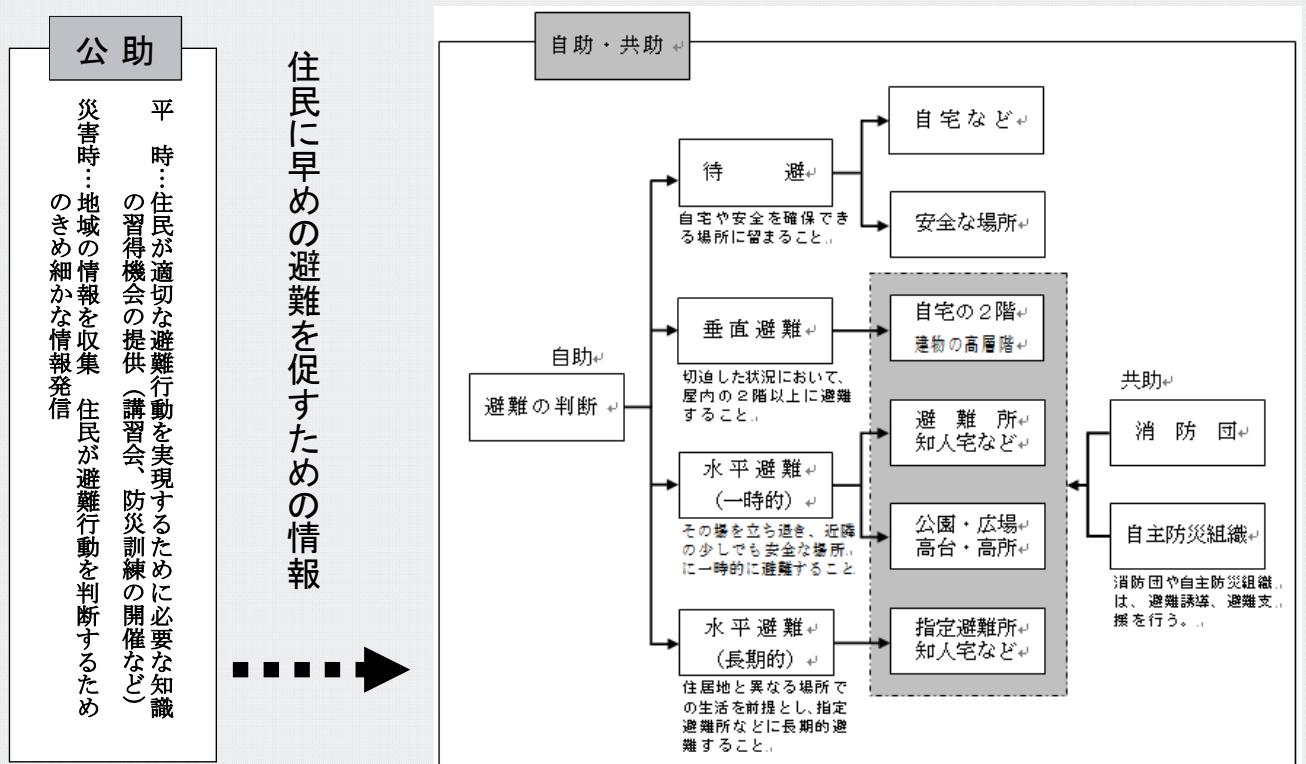
台風21号 (9/4)

避難勧告等発令状況

- ・避難準備・高齢者等避難開始(町内全域)9:00

避難者数(町内3指定避難所) 最大9世帯 12人
(開設は10避難所)

住民の行動

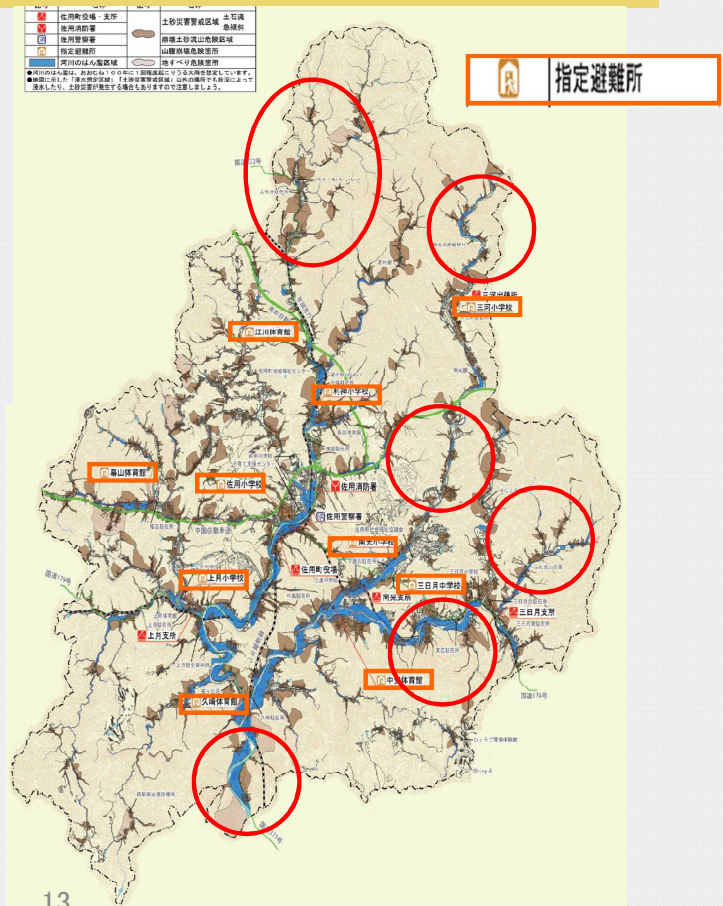


自治会による一時避難所の開設

7月豪雨、台風20号、21号において自主的に避難所を開設した自治会

※赤文字は指定避難所から遠い自治会(概ね2km以上、赤丸で囲んだ地域)

- ・奥海自治会
- ・青木自治会
- ・上石井自治会
- ・大船自治会
- ・上町自治会
- ・山田自治会
- ・上三河自治会
- ・河崎自治会
- ・西徳久自治会
- ・安川自治会
- ・土井自治会
- ・宝蔵寺自治会
- ・新宿自治会
- ・東本郷自治会
- ・乃井野自治会
- ・円光寺自治会
- ・久崎自治会
- ・小赤松自治会



防災教育の実施

兵庫県立大学木村准教授・及びゼミ生にご協力いただき、佐用町であった災害などを事例に、子どもたち自身に気づきを誘発し、「わがこと意識」を醸成させる授業を監修いただいております。

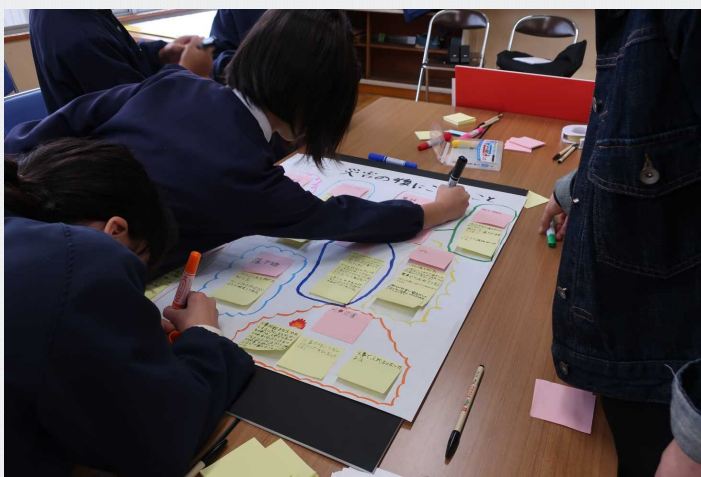
- ・次第に災害を経験していない世代になっていっても、災害の教訓を風化させず、つないでいくことで、適切な避難行動へ結びつける。
- ・その登竜門として、小学校に防災教育を位置づけ、災害の教訓を伝え、子どもたち自身がどのように備え、行動すべきか考える「自分の命は自分で守る」授業を展開している。

県立大学木村准教授に監修いただいている授業



15

県立大学木村准教授に監修いただいた 災害時の課題を発見するグループワーク授業



16

今後の課題

- ・ 雨量と降雨経過時間から判断する避難勧告等発令基準の設定(特に土砂災害)。
- ・ 想定最大規模降雨による避難
- ・ 一時避難所の把握
- ・ 一時避難所が確保できない地域(集落)の避難
- ・ 一時避難所への避難者数等の情報取得
- ・ 避難行動の把握